

ライフサイエンス分野の重点領域に関する参考資料

健康寿命について

健康寿命

・2000年6月に世界保健機構（WHO）が発表した新しい指標で、健康で明るく元気に生活し、稔り豊かで満足できる生涯、つまり、痴呆や寝たきりにならない状態で生活できる期間を指す。

＜厚生省「21世紀における国民づくり運動（健康日本21）」

より＞

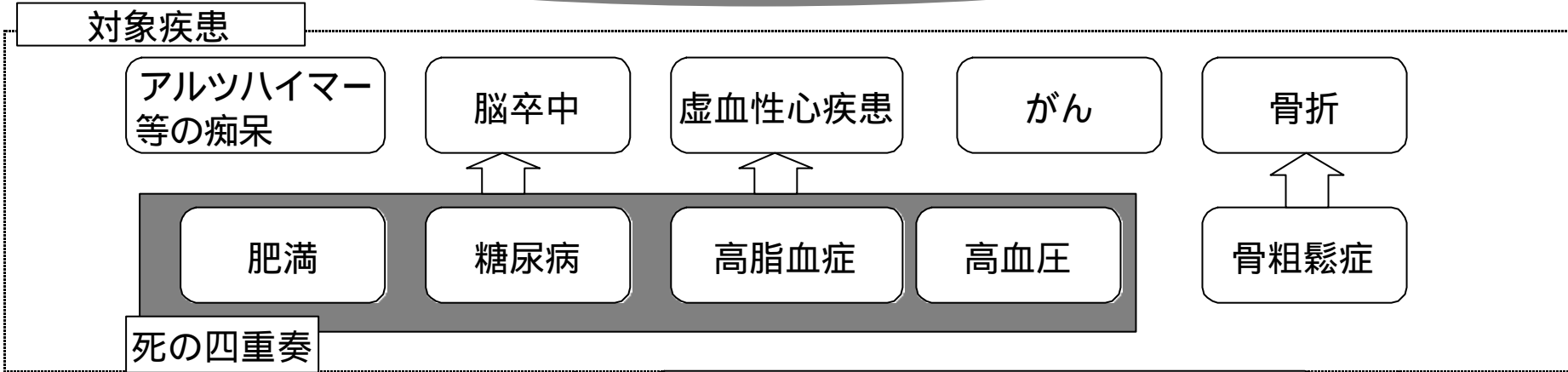
- ・WHOが発表した日本の健康寿命は男71.9，女77.2，計74.5才
（平均寿命：男77.1，女84.0，計80.9才）

WHOの発表した健康寿命の各国比較

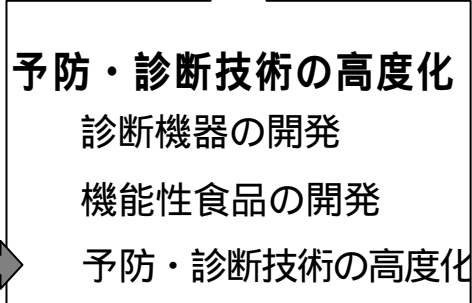
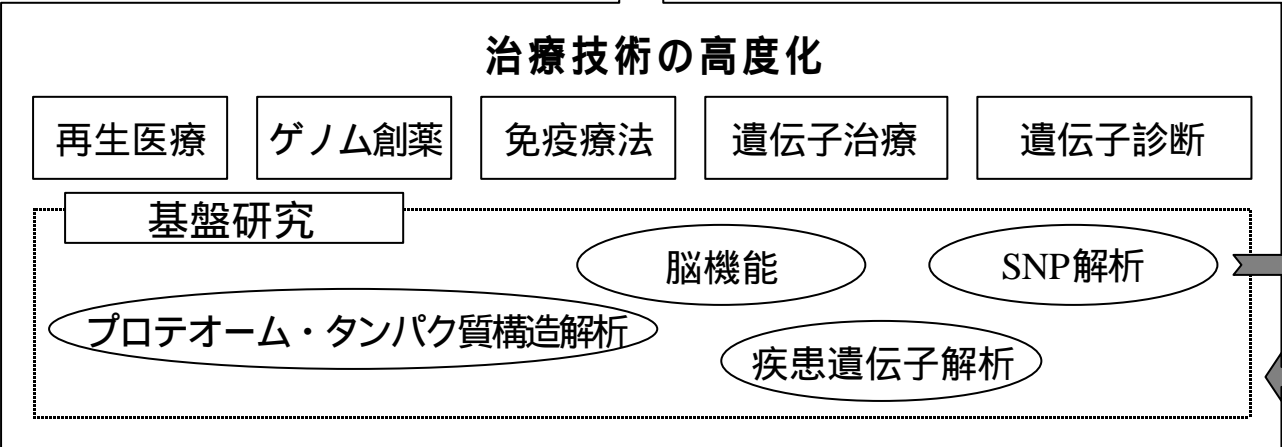
順位	国名	健康寿命
1位	日本	74.5才
2位	オーストラリア	73.2
3位	フランス	73.1
4位	スウェーデン	73.0
5位	スペイン	72.8
14位	イギリス	71.7
22位	ドイツ	70.4
24位	アメリカ	70.0

健康寿命の延伸

「寝たきり」、「痴呆」の減少

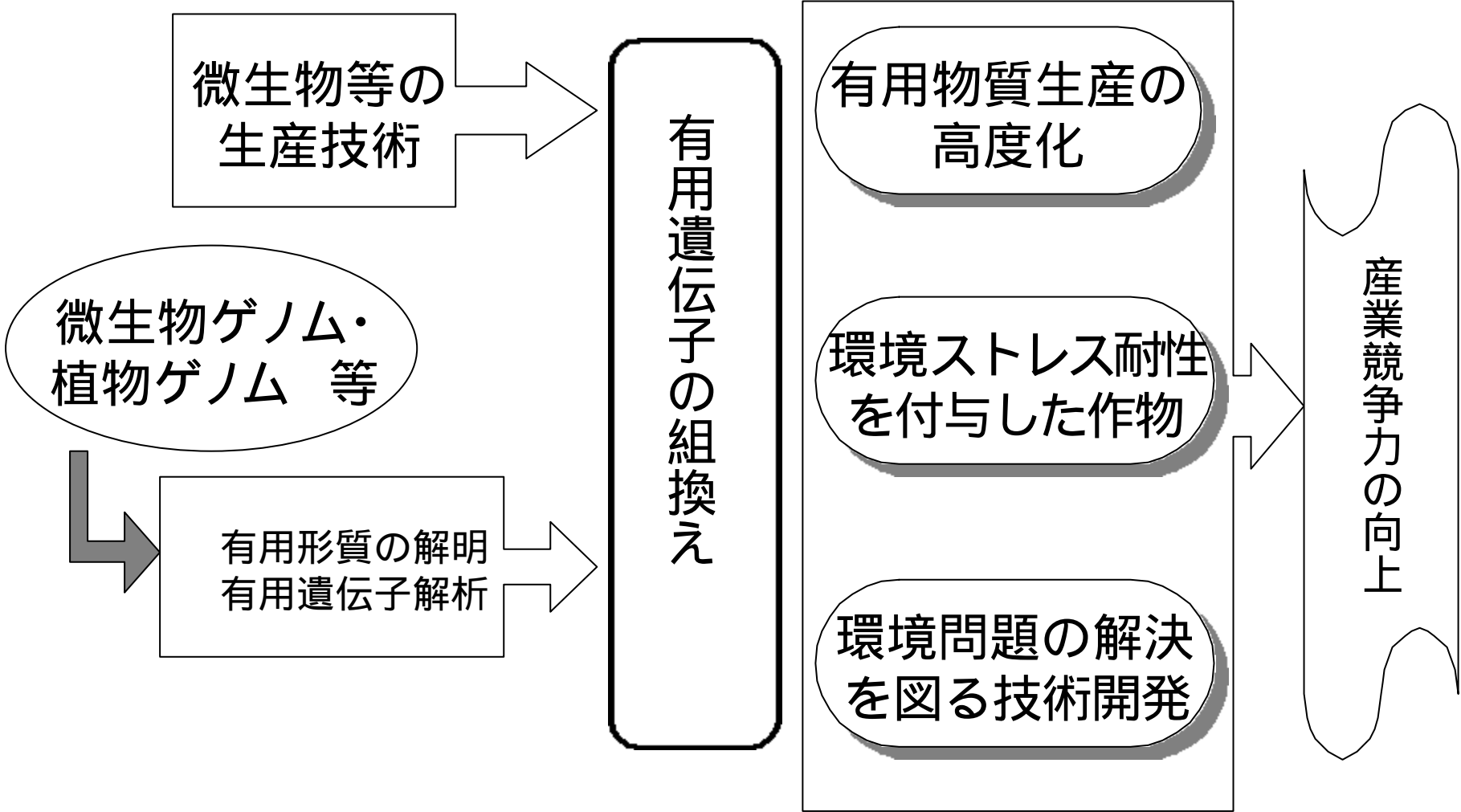


遺伝子発現制御、代謝反応、信号伝達などのネットワークを統合システムとして理解し、生命の高次機能を解明する。



バイオインフォマティクス
データベース
生物資源の管理供給体制の整備

物質生産及び食料・環境への対応のための技術開発



萌芽的・融合的技術を用いた先端解析技術の開発

異分野との融合領域

バイオインフォマティクス
システム生物学
ナノバイオロジー
バイオイメージング

計算科学 データ
処理能力の向上

独創的研究
産業競争力

医療機器・診断機器
への応用

先端研究成果を社会に還元する制度・体制の構築

国際競争力があり持続的発展ができる国の実現
安心・安全で質の高い生活のできる国の実現

社会への還元

医療分野での
臨床応用への
体制整備

遺伝子組換え
体(GMO)の
安全性

特許等、
知的財産権
の支援体制

生命倫理

ライフサイエンスの研究成果